

麻疹（はしか）の予防について

2020年以降、麻疹の報告数は全国的に減少傾向が続いていましたが、2023年入り、海外からの輸入症例を契機とした国内における感染伝播事例が報告されています。

今後、更なる輸入症例や国内における感染伝播事例が増加することが懸念されます。麻疹は感染力が強く、空気感染し、麻疹に対する免疫が低い方が患者と接触した場合、感染する可能性があります。

予防接種を受けましょう

麻疹は感染力が強く、空気感染もするため、手洗い、マスクのみでは予防できません。予防にはワクチン接種が有効です。定期接種は対象年齢になったら確実に受けましょう。また、麻疹（はしか）のり患歴や予防接種歴が明らかでなければ、予防接種を検討しましょう。

症状が疑われるときは

- ・事前に医療機関に電話連絡の上、早めに受診してください。
- ・受診の際には、マスクを着用し、公共交通機関等の利用は可能な限り避けてください。

参考：麻疹（はしか）の症状

- ・発熱、発しん、咳、鼻水、眼球結膜の充血などが主な症状です。
- ・感染力が強く、抗体がない人が感染するとほぼ100%発症します。
- ・妊婦や赤ちゃんが感染すると、流産や重症化のリスクがあります。
- ・患者との接触後、一般的に1週間から12日後に発症します。

詳しくは、[大阪府ホームページ](#)をご覧ください。
大阪府健康医療部保健医療室感染症対策企画課

大阪府 麻疹

検索